



5月の読書目標  
読書の計画を立てよう



バードウィーク

## 指定・課題図書&本屋大賞受賞本あります！

今年度の指定図書(感想画)3冊・課題図書(感想文)3冊がはいりました。今年は何の本も読みごたえがあっておすすめです。それから今年度、本屋大賞を受賞した風良ゆうの『汝、星のごとく』も過去の受賞本と一緒に展示しています。たくさんの人に読んでほしいので、新しい本は特に返却期限を守ってください。

(裏面も見て下さい)

## おすすめの本

今月は校長先生にお勧めの本を紹介していただきました。  
『1日1話読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書』  
(監修：藤尾秀昭)



上司の方から「これはいいぞ」と薦められたそうです。1日1話なので読みやすく、人前でしゃべる機会が多い校長先生には、仕事に活かされているとのこと。子どもたちには①語彙力アップにつながる②黄金の言葉がいっぱいなので心に刺さる言葉がきっと見つかる！ということでした。

こちらもおすすめ



『こども六法』(山崎聡一郎)  
いじめは犯罪。法律はみんなを守るためにある！  
とてもわかりやすく書かれた法律の本。

## 空気

5月

ぼくの心が いま  
あきとおりそうに 清々しいのは  
見わたす青葉たちの 吐く空気が  
ぼくらに入り  
ぼくらを内側から  
緑にそめあげてくれているのだ

一つの身体を めぐる  
血の せせらぎのように  
胸から 胸へ  
一つの地球をめぐる 空気のせせらぎ！  
それは うたっているのか  
忘れないで 忘れないで・・・と  
すべての生きものが兄弟であることを・・・と

『宇宙のうた』より まど・みちお



## 課題図書



『アップステージ』『人がつくった川荒川』  
(タイアナ・H・アシャー) (長谷川 徹)



## 指定図書



『しずかな魔女』『ポータレス・ケアラー』  
(市川 朔久子) (山本悦子)

### 『スクラッチ』(歌代 朔)

コロナ禍で総体や展覧会が中止になった中学生たちの葛藤と成長の物語。と言うとつまらないけれど、バレー部の元気女子と美術部のコミュカりょくの低い男子のキャラと小気味よい会話でぐんぐん読めます。登場する教師や同級生たちも魅力的。題名の“スクラッチ”は絵画の“削り出し技法”のこと。話の内容とリンクしたタイトルもなかなかです。

売りたい本  
いちばん!  
全国書店員が選んだ

2023年本屋大賞

今回の大賞作『汝、星のごとく』の作者 風良ゆうさんは2度目の大賞受賞。前回の『流浪の月』同様、すぐに映画化されそうな小説です。

## 本屋大賞 20周年

歴代の大賞受賞本を図書室に展示しています。この機会に過去の作品もぜひ読んでみて下さい。



### 『空から見えるあの子の心』

(シェリー・ピアソル)

人と違う行動をとると、変わった子と言われ、無視されたりイジメられたりしがちな世の中。鳥のようにみかん俯瞰して別の角度から人や物事を見てみると・・・色んなことに気づくはず。その気づきが世界を広げてくれるはず。常識にとらわれすぎて、大切なことを見失なわにようにしたいものです。